

科学技術に関する調査プロジェクト報告書3点を刊行しました

『AIと社会のこれからを考える』

『海洋をめぐる動向と課題』

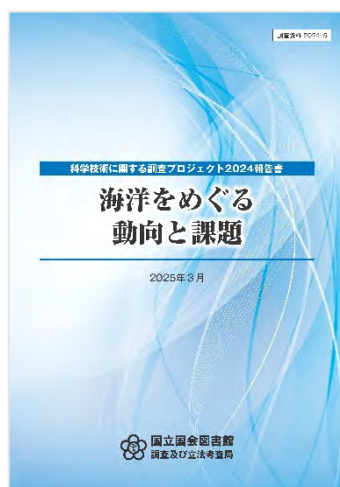
『フードテック―「食」を変える先端技術の課題と可能性―』

国立国会図書館調査及び立法考査局は、科学技術分野に係る重要な国政課題の中から特定のテーマを選定し、外部の専門家と連携して調査・分析を行う「科学技術に関する調査プロジェクト」を、毎年度実施しています。

この度、令和6（2024）年度のプロジェクトの成果として、次の3つのテーマについて、当館職員による調査や大学研究者等への委託による調査等の結果を取りまとめた報告書を刊行しました。

- 👉 『AIと社会のこれからを考える』
- 👉 『海洋をめぐる動向と課題』
- 👉 『フードテック―「食」を変える先端技術の課題と可能性―』

各報告書とも、テーマ分野の基礎的情報から関連する論点・課題までを幅広く調査・分析し、正確な情報を基に、客観性・中立性に配慮した上で、分かりやすく取りまとめるよう努めました。各テーマにおける課題を理解する一助として、是非御活用ください。



■ 『AI と社会のこれからを考える』(調査資料 2024-4)

本報告書は、令和6(2024)年11月15日にオンライン開催したシンポジウム「AIと社会のこれからを考える」の記録集です。技術の急速な進歩と、それに伴って世界各国で進められているルール整備の状況を踏まえ、AIが及ぼす社会の変化と今後の課題について、有識者による議論を通じて展望した内容をまとめました。小塚荘一郎氏による問題提起、荒瀬由紀氏、久保田瞬氏、吉永京子氏、落合孝文氏による報告に加えて、パネルディスカッションの記録及び小塚荘一郎氏による解説を掲載しています。

■ 『海洋をめぐる動向と課題』(調査資料 2024-5)

四方を海に囲まれた我が国は、海洋との関わりを強く持っています。海洋の保全、持続的な利用・開発、科学技術研究の推進など、海洋をめぐる課題は多様であり、相互に関連するものです。また、近年では、気候変動や産業構造の転換等への対応が求められるなど、課題は複雑化しています。本報告書では、海洋政策をめぐる今後の議論に資するため、基本計画、国土保全、資源開発、観測研究、米国の海洋政策、海洋ガバナンスについて、諸外国の状況も踏まえ、学識経験者の御助言、御指導を受けつつ分析・整理を試みました。

■ 『フードテック「食」を変える先端技術の課題と可能性―』(調査資料 2024-6)

世界人口の増加に伴い、食料の需要が増加しています。特に、畜産物や魚介類の需要が高まることによるタンパク質危機が課題とされています。また、農業・外食産業での人手不足、気候変動による食料生産への影響など、食にまつわる様々な課題が顕在化しています。フードテックは、これらの課題への解決策として、新しい技術やビジネスモデルを活用しようとするものです。本報告書では、第一線の研究者が、生産から消費に至るまでのフードテックの現状を多角的に分析し、技術的な課題や可能性、社会実装をめぐる論点を整理、さらにフードテックの発展がもたらす社会の在り方について考察しています。

■ 入手方法

国立国会図書館のホームページにPDFファイルで全文を掲載しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2025/index.html>

国立国会図書館トップ>国会関連情報>『調査資料』>2025年刊行分

■ お問合せ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103(直通)

(参考) 調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等、広範な分野の国政課題について、根拠となるデータの収集や事実関係の調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を報告書などにまとめ、国会議員に提供しているほか、国立国会図書館ホームページで公開しています。